



謹んで新年のお慶びを申し上げます



旧年中は議員活動、後援会活動に、多大なご理解とご支援を賜り、ありがとうございました。また、4月の市議会議員選挙でも、大変お世話になりました。

さて、12月議会では、地元企業の好調な業績による104億円の増額補正予算や豊田市初となる小学校と子ども園の合築である「寺部小・寺部子ども園」の設置、また、同じく豊田市初の中学校と交流館の合築である「浄水中・浄水交流館」の設置など、全議案が可決されました(一部は、下記に記載)。

今年も昨年同様、**精一杯働いてまいります**ので、引き続き、無所属市民派議員の**おかだ耕一に温かいご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。**

最後になりましたが、今年も皆さまにとりまして素晴らしい年になりますことをご祈念申し上げ、新年のごあいさつにかえさせていただきます。

豊田市議会議員 岡田 耕一

おかだ耕一市議 12月議会 主な議案への対応

賛成



精神障がい者の医療費助成を拡充する
条例を改正

本議案は、全会一致で可決

これは、自立支援医療受給者の「精神疾患に係る通院費」の助成や、精神障がい者保健福祉手帳1・2級保持者に対する医療助成を「全疾患に係る入院費、通院費」に拡大する条例改正で、やっと県内他市の水準に追いついたもの。

この改正は、私が一昨年の12月定例会で、主張したもので、家族をはじめ、関係者の皆さんの思いが実現したものである。遅きに失した感もあるが、評価したい。

反対



元愛知県議会議員 倉知俊彦氏を名誉
市民に推挙

本議案は、43対1の賛成多数で可決

元県議会議員に限らず、政治家たる首長、議員は、住民への奉仕を職務としており、公共の福祉増進、産業文化の発展に寄与するのは当然である。そして、職務を果たすことにより、市民生活の向上及び市の発展に貢献できたことをすでに名誉と感じているはずである。あらためて名誉市民に推挙する必要性を感じない。また、名誉市民になることにより、税金から功労金として一時金又は、年金を授与されることも大いに疑問である。

「おかだ耕一市議を囲む会」

2015年10月24日(土)

多くの皆さまのご尽力で10月24日、高橋コミュニティセンター大会議室にて100名を超える皆さまのご参加により、「おかだ耕一市議を囲む会」が盛大に開催できました。ありがとうございました。今後も、おかだ市議、後援会役員一同、さらに頑張っまいります。よりいっそうのご支援、ご協力をお願いいたします。おかだ耕一後援会



これから役員一同、頑張っまいります



永田ファミリーによる三味線演奏



多くの皆さまにご参加いただきました



支援者さんによる踊りの披露



参加者の皆さんと。ハイポーズ!

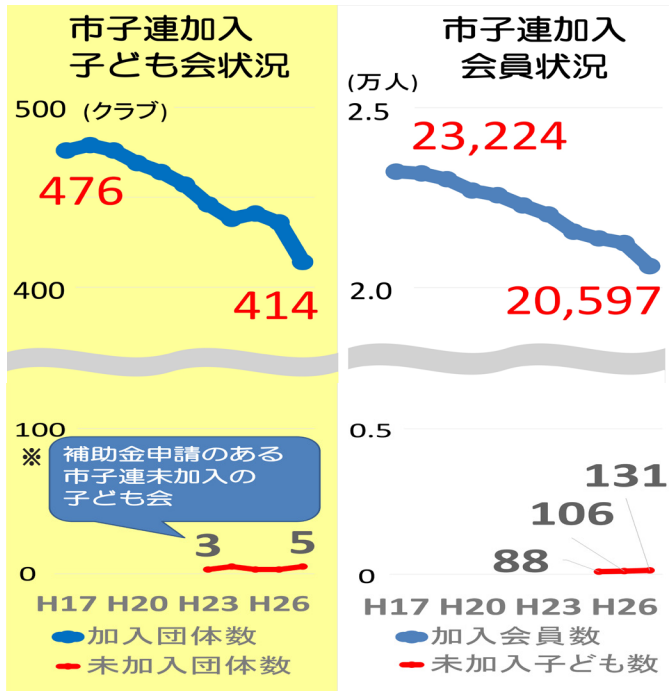


支援者の皆さんによる踊りの披露

1. 豊田市の子ども会活動への支援

(答弁は、成瀬子ども部長、原田産業部長)

テーマ選定理由:少子化の影響や社会環境の変化で、子ども会の活動が大変難しくなっている。子ども会は、市の付属機関ではないので、直接、市が関与することは難しいが、子どもたち、支える保護者に、何ができるのか、一緒に考えるために質問した。



市子連とは豊田市子ども会育成連絡協議会の略称
※市子連未加入で市に対して補助金申請をしない単位子ども会もあり

1) 子ども会の課題は？

単位子ども会(単子)が減少している。その理由として、少子化や、子ども自身が、休日に活動するクラブや習い事をしたり、保護者が家庭の事情で役員を受けられない、受けたくない等、子どもが単子に加入できない状況がある。市が認識する子ども会の課題は。

- 単子活動の課題は、主に2点あると捉える。
- ① 子ども会の加入人数の減少。少子化・過疎化等による子どもの数の減少もあるが、クラブや習い事で子どもが忙しいこと。
役員をする保護者の負担感などを理由に、子ども会に未加入の家庭があるなど、加入低下により運営に苦慮する子ども会がある。
 - ② 保護者が企画した事業に子どもが参加するだけの活動が目立つ。
子ども会の活動は本来、地域の子どもの自主性と社会性を高めるために、子どもたちが主体的に企画・運営し、保護者はそのサポート役に回るのが理想。しかし、多くは保護者が企画・運営している状況となっているのが実態。

2) 子ども会活動に更なる支援を

単子は、各家庭からの会費、自治区や市からの補助金、資源回収等からも資金を得て活動している。それでも資金が足りず、やりたい活動ができないと聞く。以下の提案をする。

- ① 資源回収時の更なる補助金の上乗せ。
- ② 市子連加入時には、人数により2万円～5万円を加算。(現状2千円～5千円加算)

これで、市子連脱退に歯止めがかかり、単子会計にも余裕ができ、活動も活発になると思う。本提案に対する所見。その他、市の課題認識に対する改善策は。

子ども会の運営に対する補助金増額の考えは今はないが、子ども会活動は、地域で子ども同士が育ちあうための重要な機会で、市子連や単子との連絡や情報交換を深め、必要な支援は行う。

加入者数の減少については、保護者向けの子ども会理解活動や学生サポートなどによる保護者の負担感を軽減するなど加入率の向上を目指す。

活動の活性化については、おいでんさんそんセンターのコーディネイトによる新たなプログラムの組み立てなど、活動の活性化を図る。

3) 産文センター駐車場の無料時間の検討を

市子連の活動の拠点でもある青少年センターが産業文化センター内へ移設し、多くの方が利用している。以前からの問題だが、利用単位が4時間なのに、駐車場の無料時間は3時間。準備、片づけまで含めると3時間を越える利用が多い。利用者のために駐車場無料時間を再検討すべきだ。



産文センター駐車場は、H18年1月にフリーパーキング制度を導入。理由は、無料のため、通勤者などの施設利用者以外の方の不適切駐車が多く、慢性的な満車状態が続き、施設利用者が駐車できない状況が増えたため。無料にすると、この問題が再発するため、駐車場の無料化は考えていない。

また、フリーパーキング制度導入で、施設周辺のフリーパーキング駐車場に停めても、産文センターで3時間無料の認証ができる。

2. 豊田地域訪問看護ステーションの拡充

(答弁は、今井市民福祉部長)

テーマ選定理由:地域包括ケアシステムを構築するうえで、重要となるのが、地域包括支援センター、居宅介護支援センター、訪問看護ステーション。今回は、再整備が進む地域医療センター内にある訪問看護ステーションを取り上げ、現状と課題を明確にし、今後のあるべき姿について、提言を含め、質問した。

1) 訪問看護に関する課題は



豊田地域訪問看護ステーションに関わらず、豊田市における訪問看護に対する課題認識は。

市内の訪問看護ステーションは、現在13事業所あるが、少ないと認識。(表1)
看護師数5名以下の小規模の事業所が7か所あり、24時間対応の事業所は2か所ある。
今後、在宅医療を進めるなかで、24時間対応の需要が増えることが予想され、これに対応できる事業所の増加が必要と考える。



人口10万人あたりの事業所数 (表1)

豊田市	愛知県	全国平均
3.1か所	6か所	7か所

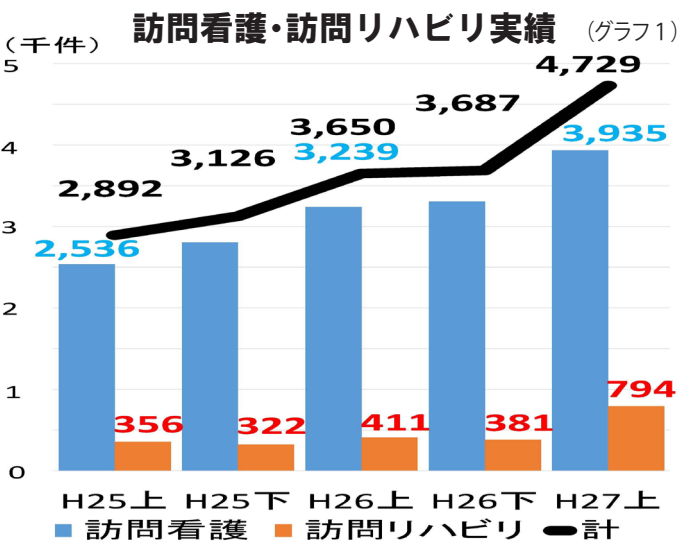
2) 豊田地域訪問看護ステーションの拡充を



訪問看護、訪問リハビリの実績は、(グラフ1)のとおり。現状の職員体制は、看護師は常勤7名、非常勤5名、理学療法士は常勤1名、非常勤2名、作業療法士は常勤1名、事務職員は非常勤1名という状況。

また、正規の勤務時間以外に24時間・夜間・休日の緊急対応も1人月平均5、6日行う。これを常勤看護師7名で対応。実績は(表2)のとおり。

この状況を解消するため訪問看護師の増員、非常勤職員の常勤化など、訪問看護ステーションの組織を早期に拡充すべきだ。所見は。



H27年4月～10月の緊急対応 (表2)

	出勤回数	電話対応回数
勤務時間内(計画外)	150回	59回
正規の勤務時間外	102回	54回



ますます重要となる訪問看護ステーション



訪問看護ステーションは、地域医療センター全体の配置計画の中で、各部門の増員要望などを調整。H27年度は、訪問看護ステーションにおいて、訪問看護師2名、理学療法士と作業療法士を1名ずつ常勤を増員した。
市は、在宅医療を推進するうえで、訪問看護ステーションは必要不可欠と考えており、訪問看護師等の確保に向けて地域医療センターと協議している。

3) 今後の利用予測と組織体制は

今後の地域包括ケアシステムの一翼を担う訪問看護の利用状況を新地域医療センター完成時に、どのように想定するのか。また、それに対応するための訪問看護ステーションの組織体制、人員をどのように考えるのか。



再整備が待たれる地域医療センター。H33年度の完成を見込む



訪問看護の利用は、今後増加すると想定し、人員体制強化を見込む。
地域医療センター再整備基本計画では、H33年度の訪問看護ステーションの体制は、常勤の訪問看護師、理学療法士、作業療法士を合計15名程度と想定。
訪問看護と訪問リハビリの利用者は、H26年度では、延べ約7,400人だが、H33年度には、延べ11,000人程度を見込む。
ただ、今後の社会情勢の変化も考慮して組織体制を整え、在宅医療を支えたい。

ラグビーワールドカップ2015イングランド大会 現地調査報告(写真集)

昨年10月、おかだ耕一市議は、ラグビーW杯が開催されていた英国を豊田市議5名で訪問。4年後の日本大会では、3~4試合、豊田スタジアムで行われる予定のため、現地での事前調査を行いました。なお、現在、報告書を作成中のため、訪問先の一部の写真を掲載いたします。(ご希望があれば報告会を行います)



10月9日(金) AM
◎開催自治体レスター市訪問
 ・自治体スタッフからの聞き取りと質疑応答
 ・キング・パワー・スタジアム見学



10月9日(金) PM
◎レスター市ファンゾーン(ヴィクトリアパーク)周辺現地調査
◎合宿地であるレスターグラマースクール周辺調査



10月10日(土) AM
◎ジャパンバビリオン見学
 ・施設周辺調査
 ・施設内見学
 ・スタッフからの聞き取り



10月10日(土) PM
◎トゥイツケナム・スタジアム周辺調査
 ・鉄道駅、バスターミナルの状況、シャトルバスの運行状況
 ・ボランティアの対応



10月10日(土) PM
◎トゥイツケナム・ファンゾーン調査
 ・屋外施設の状況
 ・屋内施設の状況
 ・ボランティアの対応



10月11日(日) AM
◎埼玉県熊谷市議会との意見交換・情報交換会
 ・両市の現状と課題
 ・英国現地調査の現状認識
 ・今後のあり方



10月11日(日) PM
◎グロスター・キングスホルム・スタジアム周辺調査
 ・鉄道駅、バスターミナルの状況と通行規制
 ・ボランティアの対応



10月12日(月) PM
◎アーネスト&ヤング社での経済波及効果のセミナー受講
 ・ラグビーW杯を取り巻く環境
 ・ラグビーW杯2015経済効果予測
 ・ラグビーW杯2019経済効果予測



10月13日(火) PM
◎エミレーツ・スタジアム(アーセナル・ホーム)現地調査
 ・スタジアム周辺調査
 ・スタジアム&バックヤード見学(日本語による音声ガイド)

とよた市民の会 無料法律相談のご案内

【開催日】 2月13日(土)・3月12日(土)・4月9日(土)
 【時間】 いずれも午後1時30分~3時
 【場所】 予約時にご連絡いたします
 お問い合わせ 小林おさむ 80-5323

弁護士に無料で相談できます。
 完全予約制といたしますのでご了承ください。
 ご希望の方は前日までにご連絡ください。

おかだ耕一を支えるカンパは下記へお願いいたします

三菱東京UFJ銀行 豊田支店 (普通) 1113815 おかだ耕一後援会
 郵便振替 00820-9-205061 おかだ耕一後援会
 《他行からの振込口座 9900 089(当座) 0205061 オカダコウイチコウエンカイ》

カンパいただいた方は通帳にはお名前しか表示されません。
 お礼を申しあげたいため、ご一報くださるようお願いいたします。
 政治資金規正法により、おかだ耕一後援会は、**外国籍の方や企業・労働組合等の団体からの寄付は受けられません。**

《連絡先》

TEL/090-1752-7529
 FAX/88-9194
<http://www.ko1.org/>
 HP

E-mail: okada@ko1.org
<https://twitter.com/ko1org>
<http://www.facebook.com/#!/koichi.okada.5>

市政に関するさまざまな疑問、質問、要望、情報等お気軽にお寄せください。